

ますはし

「仰ぎ見ると」

「モーセは青銅の蛇を造り、竿の先に掛けた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると、生き延びた。」

(民数記 第21章9節・旧約聖書234頁)

はじめに

私たちの信仰姿勢を民数記の出来事によって点検することができます。神への反逆、不審をあからさまにし続けた民たちも、神の憐れみによって取り扱いを受け、約束の地へと歩を進めて行きました。

不信が頭をもたげる

旅もアロンがその役割を終えて亡くなり、当初の民たちよりも信仰は深まっていたと考えられるのですが、主は、目の前にした約束の地から遠ざかるようにしてエドムを迂回させ、死海の南から東側へと民を移動させました。民たちは自分の思うように進めなかったことに対して「神とモーセに対して」エジプトから出てきたこと、将来が見えないこと、生活のことへの不満をおちまけます。それまで取り扱われてきて、「主の手は短かろうか」と御言葉をいただいても、民たちは目の前の現実に「耐えきれなくなり」、神を「非難した」のでした。私たちもそうです。幾度も取り扱われ、御言葉をいただきながらも、問題がむしろ悪化している、後退していると思う時、神への不信が頭をもたげてくるのです。

私たちに与えられている執り成し手

その時、神は「炎の蛇」を送られます。毒蛇なのか、サソリだったのか、わかりませんが、たちまちのうちに多くの民たちが倒れます。そこでモーセがとりなします。なんと優れた執り成し手でしょうか。私たちはモーセよりも優れた執り成し手が与えられています。私たちが不

振に陥り、神に祈れない、神に背を向けている神を呪い、神を捨てようとしている時に、そのすぐ横で、私たちの情けない姿勢を執り成し、信仰姿勢を回復できるように祈ってくださる、私たちに与えられた執り成し手、主イエスです。主イエスは、飽きることなく、諦めることなく、私たちの度々の不信仰な態度を執り成されるのです。

十字架を仰ぎ見る

この記事はヨハネの福音書に引用されています。主イエスがニコデモにご自分の使命を語られる際、「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(3:14～16)と語られています。主ご自身が言われているように、この時民たちは、竿にあげられた反逆の象徴である蛇となられる主を、十字架を仰ぐようにして見ていたのです。

「蛇にかまれた人は誰でも、仰ぎ見れば、生き延びる」。「仰ぎ見る」とは自分の意思を向けること、そしてそれを注視するとの強い意志が含まれている言葉です。ただ単に十字架を思うだけではなく、十字架にすがり、そのしたたる地に触れるようにして、進み出て、生きる者とされたいと思います。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

『私たちは主とあなたを非難して、罪を犯しました。私たちから蛇を取り去ってくださるように、主に祈ってください』と言ったので、モーセは民のために主に祈った。主はモーセに言われた。『あなたは炎の蛇を造り、竿の先に掛けなさい。蛇にかまれた人は誰でも、それを見れば、生き延びることができる。』モーセは青銅の蛇を造り、竿の先に掛けた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると、生き延びた。』(民数記 21:7～9)

「モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子



も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。』(ヨハネによる福音書 3:14～16)

いつもいつも神さまに不信感をもったり、不平不満を言っている私をお赦しください。あなたの十字架のもとに進み出ます。主イエスさまの十字架を仰ぎ、すぎります。私を救い、私の信仰を深めさせてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (39) 第2章18～19節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「彼女の家は死へと その道のりは死者の霊の国へと崩れ行く。彼女のもとに行く者は誰も帰って来ない。命の道に至ることができない。」

◎口語訳 「その家は死に下り、その道は陰府におもむく。すべて彼女のもとへ行く者は、帰らない、また命の道にいたらない。」

◎新改訳 「彼女の家は死に下り、その道筋はやみにつながる。彼女のもとへ行く者はだれも帰って来ない。いのちの道に至らない。」

「彼女の家」

ここでは父が息子に対して知恵を語っているため、「女性(遊女)」が「肉欲の誘惑」と同等に扱われていますが、当然ながら、男性だけではなく女性も気をつけるべき問題です。また、肉欲と言っても多岐にわたっています。ヨハネはその手紙において細心の注意を払うよう、次のように警告しています。「世も世にあるものも、愛してはなりません。世を愛する人がいれば、御父の愛はその人の内にありません。すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、見栄を張った生活は、御父から出たものではなく、世から出たものだからです。世も、世の欲も、過ぎ去ります。しかし、神の御心を行う者は、永遠にとどまります。』(ヨハネ一 2:15～17)。

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

今年のNHK大河ドラマ「べらぼう」では、吉原遊郭が舞台となっていますが、この場所は、遊女が逃げないように堀で囲まれていました。実は、現在の横浜スタジアムも遊郭があった場所で、同じように堀で囲まれており、大火があって多くの遊女が逃げるができずに犠牲になったこともありました。一度入ったら、出てくることができない、さながら「彼女の家」です。

肉の欲、目の欲、所有欲といった働きは、誰にもありますが、魂の生と死の境がそこにあることを覚えておかなければなりません。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

創世記第34章1節「ある日、レアがヤコブに産んだ娘ディナは、土地の娘たちを訪ねて出かけて行った。」◆私たちは「この国の制度」の下にいることを受けとめ、忠実に制度を守るが、それは制度に従っていることを意味しているのではなく、神に従うことによって真実に生きることが私たちの使命だからである。世と隔離されているような修道院的信仰生活であってはならない。しかし、ディナのようにこの世に魅力を感じ、この世と交わるのではなく、主のきよさ、主の救いを表すために「遣わされている」ことを忘れてはならない。

●賛美 / 296 ●祈禱課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。

◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

創世記第35章2節「ヤコブは、家族および一緒にいるすべての人に言った。『あなたがたの中にある異国の神々を取り除き、身を清めて衣服を替えなさい。』」◆シエケムはヤコブにとって、「イスラエルの神こそ神である」との信仰に立った記念すべき地、また大金を払い買い取った土地もあったが、主はベテルへ向かうことを指示された。私たちは自分の罪に決別し、心を一新する必要がある。着替えるとはそのための象徴的な行動だった。「古き人を脱ぎ捨て、新しき人を着る」(コロサイ3:9~10)とある。神が新しい生き方をさせてくださる。

●賛美 / 297 ●祈禱課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

創世記第36章1節「エサウ、すなわちエドムの系図は次のとおりである。」◆この章は何のために記されたのか。本筋とは関係がない人たちも見受けられ、削除しても影響がないとも思われる。だが、これは、聖書、特に旧約聖書が、イスラエルという「民族」が祝福をされる物語ではないことを示している。つまり、イスラエルはただ神の救いのわざを表すために一時期、用いらただけであり、神は全世界、必要ないと思われるようななどの民族にも、そして私たちにも救いをもたらそうとされているとのメッセージではないが。

●賛美 / 298 ●祈禱課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように

◆宗教法人を取得できるように

◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

創世記第37章19節「彼らは互いに言った。『見ろ、あの夢見る者がやって来るぞ。』」◆この章からヨセフの物語が始まる。ヤコブの寵愛を受けていたヨセフは他の兄弟からねたまれた。しかし、最大の原因は彼の見た「夢」にあった。だがこれは神が彼に見せたものである。聖書の中に出てくる夢は、明らかに神からのメッセージを意味している。つまり、神の御言葉として考えてよい。その御言葉に生きたのがヨセフである。人間の見方しかできなかった兄弟たちが迫害しても、御言葉の確かさを信じ、その姿勢を貫いたヨセフに、その御言葉が成就したのだ。

●賛美／299 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

創世記第38章18節「ユダはそれを渡し、彼女のところに入った。こうして彼女はユダによって身ごもった。」◆主イエスの系図を紹介するマタイ福音書に「ユダはタマルによってペレツとゼラをもうけ」（1:3）と記されている。その詳細がこの章に書かれている。マタイはなぜこのような人に伏せておきたいような事柄を救い主の系図に加えたのか。それは、主イエスこそ、いまわしい過去をもつ私たちをきよめ、救ってくださるお方であることを示すためだった。私たちは主イエスによって罪の連鎖を断ち切れ、そればかりか、祝福にあずかる資格を与えられたのである。

●賛美／300 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

創世記第39章2節「主がヨセフと共におられたので、事は順調に運び、彼はエジプト人の主人の家にいることになった。」◆ヨセフの前半生はまさしく流転の人生だった。だが、彼はその逆境にくさることなく、また誘惑をもきっぱりと退け、生きていく。なかなかできないことだが、なぜこの悲劇とも言える人生を彼はかくも強く歩めたのか。それは「主がヨセフと共におられた」からである。たびたび出てくるこの言葉こそが、クリスチャンたちが歩む勝利の道の秘訣である。失敗もある、失望もあるだろう。しかし、主共にいませば、われらは人生の勝利者となる。

●賛美／301 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

創世記第40章23節「ところが、献酌官長はヨセフのことを思い出さず、忘れてしまった。」◆ヨセフは獄中で夢を解いたことをきっかけに、王の給仕役、献酌官長に解放の望みを託した。だが、彼はヨセフのことを忘れた。人間は、自分のことしか考えられない。少しばかりの恩義を売って、自分に何かしてくれると期待すること自体間違いなのである。聖書はこの人間のいかげんさがもたらす現実を見過ぎてしにしていない。人ではなく、神に望みを置いて生きようではないか。神は決して忘れず、裏切らず、おしる私たちの思いをはるかにこえて答えられる。

●賛美／302 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ 7:24~29】

「みことばをどだいに」

(マタイ 7:24)

そとを あるいていると、いろいろなものがめにはいってきます。たとえばたてものをみているだけでも、いろいろなものがあります。

なんかいだてか わからないような たかいマンションも あれば むかしからの いえや、あたらしい がいこくにあるような いえもあります。

これらの たてものの いちばんたいせつなところは どこでしょう。「どだい」です。みることはできませんが、どだいがしっかりつくられていなければ、どんな すばらしく、リっぱないえも あめや かぜが ふいたら すぐに たおれてしまうでしょう。

にほんで いちばんたかい たてものは おおさかにある「あべのハルカス」で、300メートルもあります。たいふうや じしんが きたときに、すぐにたおれてしまったら、どんなにた

いへんでしょう。だから、たてものの どだいを しっかりつくっています。どだいの ふかさは 70メートルもあるそうです。てものの たかさの 4ぶんのいちも あるのです。どだいの たいせつさが わかりますね。

イエスさまも たてやすいばしよに いえをたてるのではなく、しっかりと どだいをつくりなさいと いわれました。そうしたら、こうずいがきても だいじょうぶだと いわれました。そして、そのたとえの あとで、「わたしたちの じんせいも どだいが たいせつだよ。しっかりゆるがない どだいの うえに じぶんの じんせいを きずいていきなさい。そのどだいは かみさまのみことばです。」とおしえられたのです。

わたしたちも リっぱな すばらしい いきかたが できたらと おもいますが、みせかけだけリっぱでも なにかあったら すぐに もうだめだと たおれてしまっては なにも なりません。

かみさまの みことばを じぶんの いきかたの どだいにして、しっかりと あゆむことができれば、さいわいです。

●かんがえてみよう

☆イエスさまは かしこいひとは どんなところに いえをたてたと おはなしされましたか。(マタイ7:24)

☆では おろかなひとは どこに いえをたてたと いわれましたか。(マタイ7:26)

☆イエスさまは このたとえで わたしたちに なにを おしえようとされたのですか。(マタイ7:24)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

いわのうえにたてる

に								いわ
	の	いた	わに					
わ		の				うたに		
る	に	わ		えた		うの		
の		て		にいた	え			
	い	える	のう	わ		て		
	る		に			えわた		
えわ			たの					う
て			える					のい

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① おもいきてこうなの
- ② ひとこいしか
- ③ ぶじえいんの
- ④ かおたれた

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「長距離運転」

最近、車での長距離運転をたびたびするようになっていたのですが、3時間を超えると、翌日はふらふらするような有様で、情けないなあと感じています。

そんな私も、子どもが小さい時には、よく長距離運転をしていました。そのほとんどが夏の家族旅行の時だったのですが、一番長く運転したのは、新潟を経由し、富山から下って立山まで行き、黒部第四ダムを見て帰ってきた時でしょうか。裏磐梯まで

行ったこともありますし、愛知には昔の史跡を訪ねて何度も行きました。

もともと運転は好きではないのですが、とにかく経済面での節約、そして電車利用になると人数分の席を取らなければならないなど、煩雑なことが起こってきますし、目も行き届かないこともあるので、車を選択せざるを得なくなるのです。

子どもと一緒に時には、運転している私も「早く着かないかなあ」と思っているのに、「まだあー?」とか言われるので、腹が立ち、以来、禁句にしたのですが、確かに、子どもの立場になると、あの狭い空間に7~8人詰め込まれて乗っていたわけですから、わからないでもありませんね。そんなことを思い出しながら、乗っています。

聖書ふれあい街歩き

●ガラテヤ

ペトロの手紙一の冒頭に、宛先として書かれているのはクリスチャンたちの寄留地です。ポントスの次に記されているのがガラテヤです。

この地域にはピシディアのアンティオキア、イコニオン、デルベ、リストラなど、パウロが初期に宣教した町が含まれており、その後、パウロがその信仰の状態を心配して、ガラテヤの信徒への手紙を出したことで知られていますが、黒海の東南部に面したポントスよりも西、山間部に入り、現在のトルコの中央部の地域にあたります。

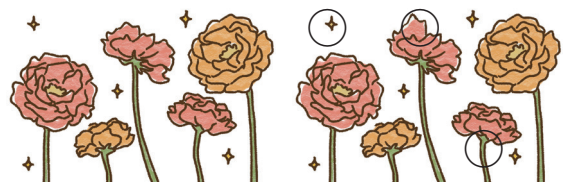
現代、イギリスなどで色濃く残っているケルト人文化をご存じだと思いますが、このケルト民族はもともと黒海地域から発生したと考えられています。アレクサンダー大王による東征の際、現在のトルコ中央部にいた彼らをガラテヤと呼んだことでその名が残っているように、この手紙が書かれていた時代も、ケルト文化と、その後に支配したローマの文化が融合した地域となっていました。恐らく、そのような背景から、キリスト教にも寛容で、クリスチャンたちも居住しやすかったかも知れません。

今はこのガラテヤの中心の町だったアンカラがトルコの首都になっています。

ななめ聖書 先週のこたえ

わ	れ	を	り	や	し	る	と	な
や	る	し	れ	な	と	り	わ	を
と	な	り	を	わ	る	や	れ	し
る	わ	れ	し	と	な	を	り	や
り	し	な	わ	を	や	と	る	れ
を	と	や	る	れ	り	し	な	わ
し	や	と	な	り	れ	わ	を	る
れ	り	わ	や	る	を	な	し	と
な	を	る	と	し	わ	れ	や	り

- ① えいがをきわめる
- ② おもいわずらう
- ③ そらのとり
- ④ かみのくに



パウロの神論

世界とその中の万物とを造られた神が、その方です。この神は天地の主ですから、人の手で造った神殿などにはお住みになりません。

また、何か足りないことでもあるかのように、人の手によって仕えてもらう必要もありません。すべての人に命と息と万物とを与えてくださるのは、この神だからです。

神は、一人の人からすべての民族を造り出して、地上の全域に住ませ、季節を定め、その居住地の境界をお決めになりました。これは、人に神を求めさせるためであり、また、彼らが探し求めさえすれば、神を見いだすことができるようにということなのです。実際、神は私たち一人一人から遠く離れてはおられません。私たちは神の中に生き、動き、存在しているからです。

(使徒言行録17:24～27)



共におられる方

【私たちの信じている神】

パウロがギリシアの人に対して語った説教から、私たちが信じている神は、どのような神なのかを解説してきました。

これまでに、天地万物を造られた「創造の神」、どこにでもおいでになる「偏在の神」、人間が築き上げてきたとされている歴史を含め、世界を統治されておられる「全知全能の神」、そして、修行もせず、万巻の書物を読まなくても、探し求めさえすれば誰でも見いだすことができる「啓示の神」であると教えているのだと申し上げてきました。

●臨在の神

最後にパウロは「神は遠く離れてはいない」「私たちは神の中に行き、動き、存在している」と言っています。

当時のギリシアでは「ストア派」「エピクロス派」の哲学者がいたとあります(17:17、18)。以前、この考え方については解説をしましたが、当時、アレキサンダー大王の支配後、個々の生き方に混乱が生じ、「いかにして心の不安を取り除けるのか」という命題に対し、哲学者がそれぞれの考えを世に出していきました。簡単に申し上げるなら、ストア派は、禁欲的な生活によって自然と調和できるようになり、欲望から解放された境地に達するのだと説きました。エピクロス派は、逆に、ある程度の欲望、飢えない、渴かない、寒くないといったことどもを満たすようにし、不安を解消できるように、死は、死んだら何もなくなるのだから死を心配することはない、友情を大切にすれば喜びが与えられるとの方法で、静かに生きることを提唱しました。

パウロは、それらの人たちを意識しながら、自分が信じている神の、臨在性を説いたのです。

臨在とはキリスト教の専門用語で、「見えない神が私たちと共におられる」という意味です。これこそが私たちの救いの本質と言ってもよい内容となります。

そもそも、人間の不幸は、あのエデンの園からの追放によってもたらされます。「自分が神のようになりたい」との思いから、禁断の実を食べたのが、罪の始まりで、ここで神との関係が断絶されました。エデンでの関係は「神と共にいる」ことで「極めて良かった」(創世記1:31)、つまり人間の至福の状態だったわけです。ところが、その関係が崩れたことで、人間には心の不安が生じます。幼い子が迷子になって、一人できまよっているような状況を想像してください。

哲学は、そのような人間の不安の解決方法を探っていたのですが、人間がなぜ不幸になったのか、原因がわかっていないことで、迷走していたのです。

そこでパウロは、その原因を伝えた上で、「神は遠く離れていない」「私たちの中に生きてい」と説いたのでした。パウロは主イエスが「インマヌエル『神は私たちと共におられる』』と呼ばれる方としてこの世にお生まれになり、エデンの園追放以来の、人間が望んでもでき得なかった至福の関係、神と共に生きることを人間にもたらした方であることを伝えたのでした。

神が私たちと共におられることこそ、私たちの救いです。この神の憐れみのわざをほめたたえと共に、パウロのように、多くの方にこの福音を紹介しなければなりません。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者合同記念礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

